

平成 29 年度教育に関する事務の管理及び  
執行状況の点検・評価に関する報告書  
(平成 28 年度事業対象)



(日吉津小学校)

平成 30 年 2 月

日吉津村教育委員会

目 次		頁
1	はじめに . . . . .	1
2	点検・評価の基本方針 . . . . .	1
3	「第6次日吉津村総合計画」の基本計画第1章「人を愛する豊かな心を育てよう」における施策と指標の関係 . . . . .	1
4	教育委員会の活動状況について . . . . .	1
5	教育委員会の組織及び主な担当業務 . . . . .	9
6	日吉津小学校の状況 . . . . .	9
7	米子市日吉津村中学校組合教育委員会について . . . . .	10
8	教育委員会が取り組んでいる5項目26施策 . . . . .	10
9	自己点検・評価の考え方 . . . . .	12
10	事務執行状況の点検・評価票 . . . . .	13

## 1 はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成28年度に日吉津村教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行った結果についてまとめたものです。

## 2 点検・評価の基本方針

### (1) 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに広く村民に公表しなければなりません。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

### (2) 点検・評価の対象及び方法

本村の教育行政の主要施策については、村政運営の基本となる「第6次日吉津村総合計画」に掲げられています。総合計画は基本目標を「一人ひとりが輝き 夢はぐくむ村づくり」とし、「村民が村づくりの主役である」ことを認識するとともに、未来を担う子どもたちが誇りと夢をもって、心豊かに育つふるさとを築き、次代に引き継ぐことを目指しています。

教育委員会施策は、5項目26施策からなり、それぞれ具体的な成果指標を設定し、評価・見直し・公表を行っていくという行政評価の手法を取り入れています。

従って、この総合計画に掲げられている教育委員会の施策を対象とし、その指標の達成状況の把握を参考にしながら、平成27年度の取組みについて点検・評価を実施しました。

## 3. 「第6次日吉津村総合計画」の基本計画第1章「人を愛する豊かな心を育てよう」における施策と指標の関係

今回の点検・評価に当たっては、基本計画第1章における教育委員会の5施策、26の基本事業を総合計画審議会でも評価したものを基本としています。

#### 4 教育委員会の活動状況について

《 教育委員会構成 》平成 30 年 2 月現在(評価時点)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	い だ ひろ ゆき 井 田 博 之	H28. 6. 17 ~ H31. 6. 16
教 育 長 職 務 代 行 者	まつ もと たか ふみ 松 本 公 文	H28. 10. 1 ~ H32. 9. 30
委 員	しも ぐち てつ じ 下 口 哲 司	H27. 10. 7 ~ H31. 10. 6
委 員	おん だ じゅん こ 音 田 純 子	H26. 10. 1 ~ H30. 9. 30
委 員	欠 員	

《 教育委員会構成 》平成 28 年度中(評価対象年度中)

職 名	氏 名	任 期
委 員 長	おく だ けい こ 奥 田 恵 子	H24. 10. 1 ~ H28. 5. 31 (辞 任)
委 員 長 職 務 代 理 者	まつ もと たか ふみ 松 本 公 文	H28. 10. 1 ~ H32. 9. 30 H24. 10. 1 ~ H28. 9. 30
委 員	しも ぐち てつ じ 下 口 哲 司	H27. 10. 7 ~ H31. 10. 6
委 員	おん だ じゅん こ 音 田 純 子	H26. 10. 1 ~ H30. 9. 30
教 育 長	やま にし とし お 山 西 敏 夫	H25. 10. 15 ~ H28. 4. 14 (辞 任)

教育長辞任後の教育長職務代行者等の職名、個別任期は省略しました。

《 会 議 》

教育委員会の主な活動のひとつは、教育に関する重要な案件の審議等を行う「会議」です。「会議」は原則として毎月中旬～下旬に定例会を開催し、必要に応じて臨時会、視察等を行っています。平成 28 年度は下表のとおり、定例会 12 回、臨時会 1 回を開催し、議案 15 件、協議事項 13 件、報告事項 15 件について審議等を行いました。

平成 28 年 4 月定例会（平成 28 年 4 月 27 日（木））

番 号	件 名	結 果
議案 1	準要保護児童の認定について	原案可決
議案 2	小学校教務主任等の任命について	原案可決
議案 3	日吉津小学校評議員の委嘱について	原案可決
議案 4	社会教育委員の委嘱について	原案可決
議案 5	青少年育成推進指導員の委嘱について	原案可決
議案 6	民俗資料館運営委員会委員の委嘱について	原案可決
議案 7	文化財保護審議会委員の委嘱について	原案可決
議案 8	スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案可決
協議事項(1)	小学校計画訪問について	協 議

平成 28 年 5 月定例会（平成 28 年 5 月 26 日（木））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	小学校計画訪問について	協 議

平成 28 年 6 月定例会（平成 28 年 6 月 22 日（水））

番 号	件 名	結 果
議案 9	教育長職務代行者の指名について	原案可決
協議事項(1)	日吉津村議会 6 月定例議会について	協 議
協議事項(2)	小学校計画訪問について	協 議

平成 28 年 7 月定例会（平成 28 年 7 月 22 日（金））

番 号	件 名	結 果
議案 10	準要保護児童の認定について	原案可決
議案 11	民生委員推進会委員の推薦について	原案可決
協議事項(1)	小学校計画訪問について	協 議
報告事項(2)	日吉津村人材育成交流事業(沖縄交流)	報 告

平成 28 年 8 月定例会（平成 28 年 8 月 25 日（木））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	日吉津村議会 9 月定例議会について	原案可決
協議事項(2)	市町村教育委員会研究協議会について	協 議
報告事項(1)	全国学力・学習状況調査の結果について	報 告

平成 28 年 9 月定例会（平成 28 年 9 月 23 日（金））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	日吉津村議会 9 月定例議会について	協 議

平成 28 年 10 月定例会（平成 28 年 10 月 21 日（金））

番 号	件 名	結 果
報告事項(1)	就学支援委員会の結果について	報 告
報告事項(2)	小中学校の様子について	報 告
報告事項(3)	「ひえづのうた」作成事業について（村のコーシャルソング）	報 告
報告事項(4)	スクールソーシャルワーカーについて	報 告

平成 28 年 11 月定例会（平成 28 年 11 月 29 日（火））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	西部地区町村教育委員会連絡協議会について	協 議
報告事項(1)	小中学校の様子について	報 告
報告事項(2)	日吉津村議会 12 月定例議会について	報 告
報告事項(3)	全国学力・学習状況調査の結果について	報 告

平成 28 年 12 月定例会（平成 28 年 12 月 21 日（水））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	教育に関する事務管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書について	協 議
報告事項(1)	日吉津村議会 12 月定例議会について	報 告

平成 29 年 1 月定例会（平成 28 年 1 月 27 日（金））

番 号	件 名	結 果
議案 12	準要保護児童の認定について	原案可決
協議事項(1)	教育に関する事務管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書について	協 議
報告事項(1)	日吉津村議会 1 月臨時議会について	報 告

平成 29 年 2 月定例会（平成 29 年 2 月 23 日（木））

番 号	件 名	結 果
議案 13	学習指導要領の改定について	原案可決
協議事項(1)	日吉津村教育委員会 3 月臨時会の開催について	協 議
報告事項(1)	平成 29 年度の予算について	報 告

平成 29 年 3 月臨時会（平成 29 年 3 月 14 日（火））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	水泳の飛び込み指導について	
報告事項(1)	給食食材(キザミ海苔)について	
報告事項(2)	平成 29 年度教職員人事について	報 告

平成 29 年 3 月定例会（平成 29 年 3 月 30 日（木））

番 号	件 名	結 果
議案 14	準要保護児童の認定について	現案可決
議案 15	社会教育委員の委嘱について	現案可決
報告事項(1)	日吉津村議会 3 月定例議会について	報 告

《日吉津村総合教育会議》

平成 26 年 6 月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成 27 年度から村長と教育委員会との協議・調整の場である「総合教育会議」を村長が設置するとともに、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を策定することが義務付けられました。

平成 29 年 1 月 27 日に開催された総合教育会議においては、小学校児童の状況について報告し、平成 29 年 2 月 23 日には、日吉津村教育大綱の一部改正やそれに基づく施策、平成 29 年度予算について提案し、可決されました。

# 日吉津村教育大綱

平成 28 年 1 月 28 日策定

平成 29 年 2 月 23 日一部改正

## 1 大綱の性格と基本理念

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、日吉津村の教育・文化振興に関する総合的な施策について目指す方向と施策の根本となる方針を定めるものです。

### 【基本理念】

21 世紀をたくましくしなやかに生きるための学力の定着  
生きがいと豊かさを実感できる生涯学習の推進  
活力あるふるさと日吉津を支える人づくり

## 2 学校教育

### ○就学前教育

#### ①保小連携

保育所と小学校の連携を図り、幼児教育と学校教育が連続して実践される体制を作ります。

#### ②保育の質の向上

発達と学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。

#### ③子育て・親育ち支援の推進

就労、家族状況など社会の変化に即した親の育ちを応援する学びの場の提供や体験型の学習機会など福祉等と連携し推進します。

### ○小学校教育

#### ①確かな学力の定着

基礎的・基本的な知識技能を習得し、児童の個に応じた学力の伸長を図ります。自からの将来を展望し、主体的に学び続ける児童の育成を目指し取り組んでいきます。

#### ②未来を切り開くたくましく自立した子どもの育成

自然環境や地域の人材をいかした教育内容を創造し、ふるさとに誇りを持ち、人と関わり合いながら、自然体験、社会体験、交流活動などの体験活動を充実させ、心豊かな人間性、社会性を育みます。

#### ③特別支援教育の充実

特別支援教育の理解と充実を図り、誰もが可能性を広げ、個性や能力を伸ばしながら、ともに支え合い、成長していく意欲を育てていきます。

また、障がいのある児童と障がいのない児童が可能な限り共に学び、共に成長するための教育環境を構築していきます。

#### ④開かれた学校

P T A活動、子ども会、自治会、各種団体との連携を図り、地域の教育力を活用した開かれた学校教育を実践します。

#### ⑤教職員の資質の向上

児童が「わかる喜び」「できるたのしさ」を実感する学習意欲を高める授業作りを目指し、各種の研究事業や研修の場を設け、教職員の資質や指導力の向上を図ります。

### ○中学校教育

#### ①小中連携の推進

将来の進路を見据え、一貫した教育方針のもと連携を図ります。

#### ②教育機能の整備

米子市日吉津村中学校組合教育委員会、米子市日吉津村中学校組合議会を通じ、教育機能がさらに充実するよう施設・備品の整備を推進します。

#### ③関係組織の連携

いじめ、不登校、問題行動等早急に解決しなければならない課題への対応を迅速的確に進めるため、関係組織の連携強化を図ります。

## 3 社会教育

### ○生涯学習の推進

#### ①学校、家庭、地域の連携（G U T S日吉津っ子の育成）

学校・地域社会・家庭が連携を図りながら、それぞれの場を活かした取り組みを展開します。学校教育と社会教育の連携・融合事業による「G U T S（ガッツ）日吉津っ子」の発展的な取り組みを推進します。

#### ②学習機会、内容の拡充・支援

多様化する村民の学習ニーズを把握し、誰もがいつでも、個人・団体にあった方法で参加できるよう、学習機会及び内容の拡充に努めます。

#### ③各種団体・グループの育成と指導者養成

生涯にわたって意欲的に学ぶ団体やグループの育成に努めるとともに、その学習成果を地域や家庭に還元し、地域の課題解決に向け取り組んでいく人づくりや活動をリードする指導者の養成を進めます。

### ○人権尊重の村づくり

#### ①「あらゆる差別をなくす総合計画」の策定

同和問題をはじめ、さまざまな人権課題の解決に向けた「日吉津村あらゆる差別をなくす総合計画」を策定し、施策の推進に努めます。

#### ②人権・同和教育研修の充実

「村人権・同和教育推進協議会」の活動推進に努め、小地域懇談会や保育・学校教育との連携、企業・事業所での研修、行政関係職員の研修の充実を図り、理解を深めます。

### ○生涯読書の推進

#### ①読書活動の推進

ヴィレステひえづ内の村立図書館を中心として、生涯にわたる読書の推進活動を展開し、村民の読書及び読書活動を活発化します。子ども図書館等との連携による幼

児児童の読書推進や生涯読書の推進、県立図書館との連携による図書サービスの充実を図ります。

#### ② 図書館の整備

村民のニーズを踏まえ、村民に役立つ情報提供や生涯読書を推進する公共図書館の整備を行います。

### 4. 社会体育

#### ① 村民総スポーツの推進

体力保持、健康増進のために、各世代の参画や村民自ら企画運営に参画できる体制作りや指導者養成に努め、村民総スポーツの推進を図ります。

#### ② スポーツ団体、スポーツ少年団の自主的活動の支援

各種団体・サークルの活動を支援するとともに、指導者の確保・養成に取り組みます。

#### ③ スポーツに親しみやすい環境作り

農業者トレーニングセンター、海浜運動公園、日野川河川敷運動公園等、体育施設の整備に努めます。

### 5 伝統・文化の継承保存

民俗資料館の適正な管理運営に努めるとともに、地域の文化財を身近に感じ、ふるさとの歴史や文化についての理解を深める機会を提供します。

#### 《学校訪問》

教育委員は、村立小学校における教育活動の状況を把握し、課題や取組状況について学校と教育委員の共通理解を深め、日吉津村の教育行政の更なる充実と発展に資することを目的に年間を通して計画的に学校訪問を行っています。

学校訪問の内容は、管理職等との学校運営の状況、成果、課題などの情報交換や授業参観などです。平成 28 年度は下記のとおり実施しました。

訪問日	訪問学校名
平成 28 年 6 月 22 日	日吉津村立日吉津小学校

#### 《視察研修等への参加》

教育委員は、年間を通して、教育行政に関する情報収集、教育に関する調査、研究のために視察研修等へ参加しています。平成 27 年度は下表のとおりです。

開催日	事業名・内容	場所
平成 28 年 7 月 8 日	縣市町村教育委員会定期総会・研究大会	倉吉市
平成 28 年 8 月 1 日	縣市町村教育委員研修会	倉吉市
平成 28 年 8 月 19～20 日	中国五県町村教育長会研究大会	山口県
平成 28 年 11 月 21 日	西部地区町村教育委員会連絡協議会合同研修会	ヴィンステヒえづ

平成 28 年 11 月 24 日	西部地区市町村教育長会連絡協議会	日南町
平成 28 年 11 月 17~18 日	全国第2ブロック 教育委員会研究協議会研修会	高知市
平成 29 年 1 月 12 日	西部地区町村教育委員会連絡協議会合同研修会	ヴィンステヒエブ

《学校行事等への参加》

教育委員は、年間を通して個人または全員（複数）で、小・中学校の行事等へ参加し、教育活動の状況等の把握に努めています。平成 27 年度の主な参加行事等は下表のとおりです。

開催日	学校名	内容
平成 28 年 4 月 8 日	日吉津小学校	入学式
平成 28 年 4 月 8 日	箕蚊屋中学校	入学式
平成 28 年 5 月 27 日	日吉津小学校	運動会
平成 28 年 9 月 3 日	箕蚊屋中学校	体育祭
平成 28 年 10 月 22 日	日吉津小学校	きらきらフェスティバル
平成 29 年 3 月 10 日	箕蚊屋中学校	卒業式
平成 29 年 3 月 17 日	日吉津小学校	卒業式

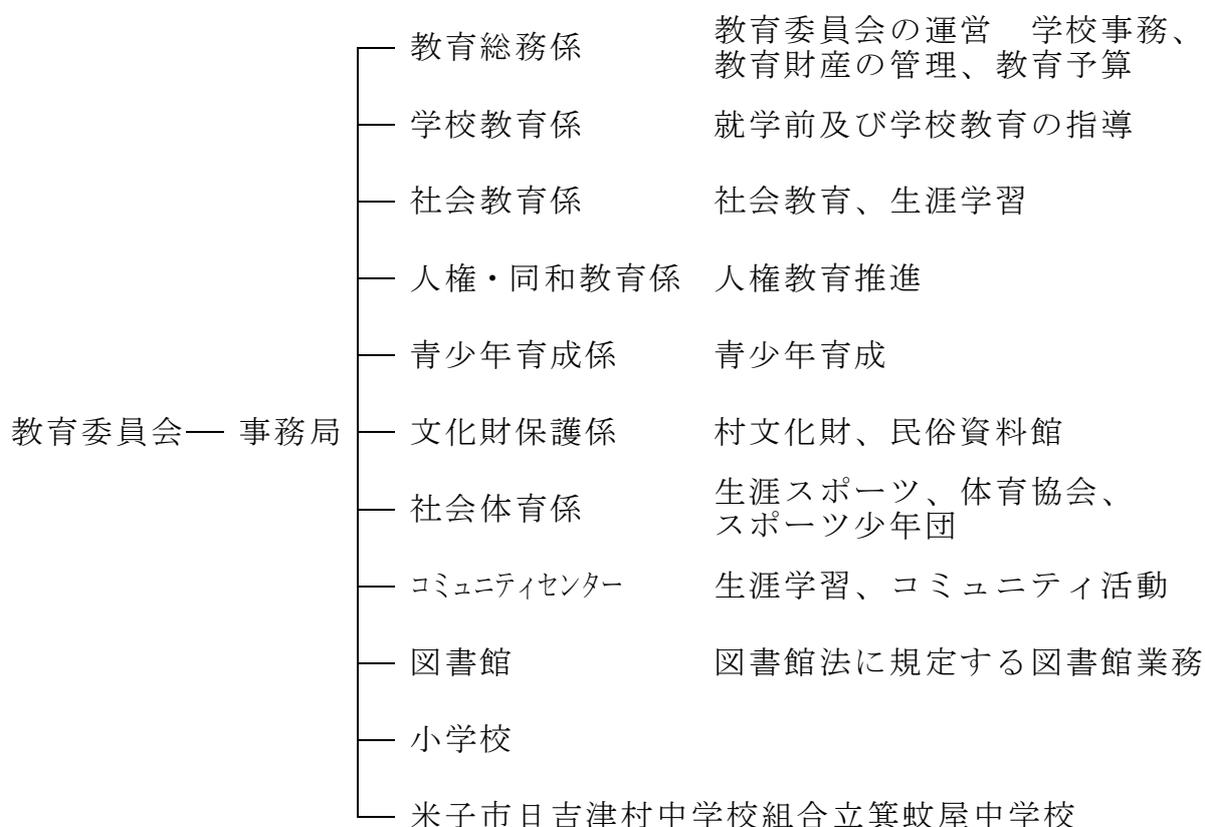
《関係行事等への参加》

教育委員は、年間を通して関係行事等へ参加しています。平成 27 年度の参加行事等は次表のとおりです。

開催日	事業名・内容	場所
平成 28 年 4 月 10 日	チューリップマラソン大会	日野川河川敷
平成 28 年 7 月 17 日	図書館大会・村生涯学習村づくり大会	ヴィンステヒエブ
平成 28 年 10 月 9 日	村民運動会	小学校グラウンド
平成 28 年 11 月 5~6 日	日吉津村ふれあいフェスタ	ヴィンステヒエブ
平成 29 年 1 月 3 日	村成人式	ヴィンステヒエブ
平成 29 年 1 月 22 日	村人権・同和教育研究集会	ヴィンステヒエブ
平成 29 年 3 月 12 日	村芸能大会	ヴィンステヒエブ

## 5 教育委員会の組織及び主な担当業務

教育委員会の組織及び主な担当業務は、次のとおりです。



## 6 日吉津小学校の状況

日吉津小学校の状況は次のとおりです。

### (1) 生徒数及び学級数 H28.5.1 現在 (単位：人、学級)

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	内特別支援	合計
男子	18	14	16	14	22	11	(4)	95
女子	12	14	13	18	17	19	(2)	93
合計	30	28	29	32	39	30	(6)	188
学級数	1	1	1	1	2	1	3	10

### (2) 学校施設

区 分	施 設 規 模
校地面積	18,947 m <sup>2</sup> 校舎 7,273 m <sup>2</sup> 校庭 9,978 m <sup>2</sup> プール 1,969 m <sup>2</sup>
校舎	教室棟 RC造3階 2,030 m <sup>2</sup> 、管理棟 RC造平屋 425 m <sup>2</sup> 特別教室棟 RC造2階 467 m <sup>2</sup> 特別附属棟 W造2階 697 m <sup>2</sup> 体育館 S造平屋 998 m <sup>2</sup>
空調設備	教室棟 RC造3階、特別附属棟 W造2階 の2棟空調完備

太陽光発電	60Kw(30Kw×2台) 30Kwは防災対応型(自立運転機能付)
耐震等	耐震補強、非構造物の耐震化対応済み

## 7 米子市日吉津村中学校組合教育委員会について

米子市日吉津村中学校組合は、組合を組織する米子市（巖地区、春日地区、伯仙地区）と日吉津村の中学校事務を共同処理するため、組合立箕蚊屋中学校を設置し、箕蚊屋中学校に関する教育事務を管理執行するもので、組合の執行機関としての教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に規定する事務を管理執行しています。

## 8 教育委員会が取り組んでいる5項目26施策

### 1. 生涯学習のむらづくり

施 策	頁
①学校、家庭、地域の連携（GUTS日吉津っ子の育成）	I-1
②読書及び図書活動の活性化と図書館の整備（複合施設準備）	I-2
③生涯学習の推進	I-3
③生涯学習の推進（デジタルアーカイブ）	I-4

### 2. 学校教育の振興

#### 1) 就学前教育

施 策	頁
①保小連携など、教育機関相互の連携	I-5
②家庭教育・子育て支援の推進	I-6

#### 2) 義務教育

##### (1) 小学校教育

施 策	頁
①活力のある学校づくり	I-7
①活力のある学校づくり（陸上及び体幹指導）	I-8
②社会に適應できる子どもの育成	I-9
③特別支援教育の充実	I-10
④開かれた学校教育の実践	I-11
⑤教職員の資質の向上	I-12

##### (2) 中学校教育

施 策	頁
①教育機能の整備	I-13
②社会教育分野の取り組み	I-14

③関係組織の連携強化	I - 15
------------	--------

### 3. 社会教育とコミュニティ活動

施 策	頁
①学習機会、内容の拡充、支援	I - 16
①学習機会、内容の拡充、支援(地元人材育成奨学金支援事業)	I - 17
②各種団体・グループの育成と指導者養成	I - 18
②各種団体・グループの育成と指導者養成(中・高校生)	I - 19
②各種団体・グループの育成と指導者養成(ゲストティーチャー)	I - 20
④各種イベントの開催	I - 21
④各種イベントの開催(ヴィレステひえづボランティア)	I - 22
④各種イベントの開催(グループ育成)	I - 23
⑤民俗資料館の管理運営と地域文化振興	I - 24

### 4. 社会体育の振興

#### 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備

施 策	頁
①村民総スポーツの推進	I - 25
②各種大会の開催	I - 26
③少年スポーツの健全育成	I - 27
④指導者の確保・育成	I - 28
⑤施設の適正管理と有効活用	I - 29

### 5. 人権尊重・同和問題への取り組み

施 策	頁
①「あらゆる差別をなくす総合計画」の策定	I - 30
②人権・同和教育研修の充実	I - 31
③村人権・同和教育推進協議会の活動推進	I - 32

## 9 自己点検・評価の考え方

教育委員会が平成27年度に実施した事業に対して、教育委員自らが点検・評価しています。

また、点検・評価を実施するにあたっては、目標に対する達成度や進捗状況等を勘案しながら総合的に評価することとし、次に掲げる区分によって評価しています。

### 【施策評価基準】

#### (5段階の施策評価方法)

評価	目的等の重要度(期待)	コストパフォーマンス	目標等の達成度(成果)	関連波及効果
	※この施策の目的が、現在、村として重要度、あるいは優先度が高いかどうか。また、今後への期待度が高いかどうかを評価するもの。	※前年同様の成果を得るために、予算・人員・時間などを節約できたか。あるいは、予算・人員・時間などは前年同様でも、成果が高まったかどうかを評価するもの。	※当該年度において、施策の目標がどの程度達成され、成果があったかを評価するもの。	※その施策の実施によって、(所期の目的以外に)何か波及効果があったかどうか評価するもの。(例えば、「村民との協働性」「人材育成」「環境への配慮」など)
A	施策としての重要度・優先度が極めて高い。(今後大いに期待できる)	コストパフォーマンスが極めて高かった。	目標が十分達成され、極めて大きな成果(効果)があった。	施策の実施により、村民との協働性・納得性・人材育成・環境への配慮など波及効果が極めて高かった。
B	施策としての重要度・優先度が高い。(今後に期待できる)	コストパフォーマンスが高かった。	目標に向かって、成果(効果)があった。	成果により、村民との協働性・納得性・人材育成・環境への配慮など、波及効果があった。
C	施策の重要度・優先度は普通。村の施策として引き続き進めたい。	概ね前年同様に施策が実施された。	目標が概ね達成され、一定の成果(効果)があった。	特段には波及効果はなかった。
D	施策としての重要度・優先度はあまり高くない。(今後の期待度も低い)	コストパフォーマンスが低かった。	目標があまり達成されず課題が残り、改善の余地がある。	あまり成果がなかったために、村民との協働性・納得性・人材育成・環境への配慮などに課題が残った。
E	施策としての重要度・優先度が極めて低い。(今後の期待度も極めて低い)	コストパフォーマンスが極めて低かった。	目標は達成されず、課題は大きく、抜本的な見直しが必要である。	成果がなかったために、村民との協働性・納得性・人材育成・環境への配慮などに課題が大きい。

## 10 事務執行状況の点検・評価票

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ①学校、家庭、地域の連携(GUTS日吉津っ子の育成)	実施期間	継続	団体等	村内各種団体組織と連携
<b>平成28年度実施状況</b>						
実施状況	◇カルチャー土曜塾 ・5つの定期コース(漢字・科学・日本文化・スポーツ・ものづくり)と2回の体験コース(お菓子作り・雪遊び)を実施 ・児童の参加実人数77人、講師・ボランティアの参加実人数28人 ◇ひえづかるたをつくろう ・日吉津村を紹介するためのかるたを作成(参加児童21名 地域のボランティア3名 大学生5名)					
成果等	・漢字検定や科学検定への挑戦が児童の自信につながった。 ・縦割りの活動をすることで、上級生のリーダーとしての意識が醸成された。 ・児童の日吉津村への愛着が増した。					
課題	・「GUTS(ガッツ)日吉津っ子」育成事業の整理と、地域での理解を深め、地域の協力者を増員が必要。 ・各種団体との連携と共通認識をさらに高めることが必要。					
<b>平成28年度施策評価</b>						
評価項目	庁内評価			教育委員評価		
目的等の重要度	将来、日吉津村を担う者を育成するためには、学校・家庭・地域の連携の重要度は極めて高い。	A				A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C				C
目標等の達成度	学校・家庭・地域の連携についてはやや課題が残る。	C				C
関連波及効果	地域の協力者が増員した。	B				B
<b>実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)</b>						
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)		
平成28年度	予算	報償費、需用費、備品購入費	770	県支出金 415 一般財源 355		
	実績	報償費、需用費、備品購入費	730	県支出金 415 一般財源 315		
(平成29年度)	予算	報償費、需用費、役務費	314	県支出金 313 一般財源 1		
(平成30年度)	計画	需用費、役務費	314	県支出金 313 一般財源 1		
(平成31年度)	計画	需用費、役務費	314	県支出金 313 一般財源 1		
<b>教育委員の意見・指摘</b>						

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		(○)村直営 ( )団体 ( )その他	
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25)	実施期間	H17~ 継続	団体等	
		②読書推進活動と公共図書館サービスの充実				

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書の収集と登録(H28年度3,010冊購入)</li> <li>・利用の促進(利用者登録H29年3月末現在1,731名)</li> <li>・子育て・シニア・ティーンズなどニーズに応じた図書コーナーの設置(いきいきコーナー・すくすくコーナー・ティーンズコーナー・季節ごとのテーマ展示)</li> <li>・ICタグ導入による貸出・返却手続きのスピード化</li> <li>・小学校・保育所共催の読書推進活動の実施(読む読むキャンペーン)</li> <li>・県立図書館との連携による相互貸借により、利用者のニーズに対応。</li> <li>・図書館に関連する講演会・イベントの開催。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる年代の村民が利用しやすいように環境を整備し、図書館サービスを提供した。(H28年度貸出数51,049冊)</li> <li>・計画的に資料を収集することができた。(H28年度末27,644冊所蔵※H29年度30,000冊所蔵予定)</li> <li>・小学校との連携(調べ学習用資料貸出553冊)</li> <li>・県立図書館との連携(H27年度相互貸借977冊)により、利用者のニーズに応えた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館が読書活動だけにとどまらず、資料相談によって問題解決ができていたり、就学・就労のきっかけづくりになったりするなど、様々な機能があることについて広く周知することができなかった。利便性から村外の利用者が徐々に増えつつある中、村の図書館を住民にさらに活用してもらえるように利用促進を図ったが、村内利用はあまり増加しなかった。</li> </ul>

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	複合施設の機能を活かして、図書館サービスを展開することにより、村民の読書活動が活発化することは、村民の生涯学習の重要拠点となる。	A		A
コストパフォーマンス	ICタグ利用により、スピードかつ正確に貸出・返却業務や蔵書管理を行うことができた。	A		A
目標等の達成度	計画的に蔵書を収集し読書環境は整いつつある。新規イベントもでき村民へのアプローチはできたが、住民の新規利用者は微増だった。	B	図書館の利用促進を図るためのウイレスでのイベント等、村民のニーズに対応した取り組みが必要。	B
関連波及効果	他課の事業と連携することで事業の参加者が増えたり、図書館を利用するきっかけになったりと相乗効果が見られた。	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	備品購入費、委託料、使用料	15,826	一般財源 13,210 県支出金 2,616
	実績	備品購入費、委託料、使用料	15,779	一般財源 12,666 県支出金 3,113
(平成29年度)	予算	備品購入費、委託料、使用料	18,605	一般財源 14,324 県支出金 2,596 繰入金 1,685
(平成30年度)	計画	備品購入費、委託料、使用料	15,000	一般財源 15,000
(平成31年度)	計画	備品購入費、委託料、使用料	15,000	一般財源 15,000

教育委員の意見・指摘	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ③生涯学習活動の推進	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
			実施期間	H14～ 継続	団体等

**平成28年度実施状況**

実施状況	<p>◇生涯学習むらづくり推進大会 ・「笑い」をテーマに、図書館大会と共同開催(7月17日) ・有限会社プレジャー企画代表取締役会長・NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会理事長の大棟耕介さんの講演「大人が笑えば子どもは笑う」(参加者18名) ・ワークショップ(音読・バルーンアート・ふくわらい・健康チェック) ・映画会(3作品 地域の高校生の参加)</p> <p>◇ふれあいフェスタ(文化の部) ・11月5日、6日に開催【出展者数 35団体(前年比-4)、9個人(前年比-1)、作品展示会場入場者数 3,673人(前年比+888人)】</p>
成果等	<p>◇生涯学習むらづくり推進大会 ・講演により積極的に活動するとこの意識啓発ができた ・ワークショップではスタンプラリーを実施し、参加者との交流がはかれた。 ・映画会は、日吉津村で高校生が活躍するきっかけとなった。</p> <p>◇ふれあいフェスタ(文化の部) ・多様な団体・グループ、村民一般から多数の作品の出展があり、村民全体の文化活動の成果を発表することができた。 ・搬入、搬出等すべて出展者が自分たちで行なうことで、自主運営が図られた。 ・イベント広場との相乗効果で多くの方が鑑賞し、文化意識の向上とともに多方面との交流が図られた。 ・飲食ブースやイベント等との相乗効果で多くの方に来場いただけた。</p>
課題	<p>◇生涯学習むらづくり推進大会 ・地域の要求にマッチした内容の学習機会の提供</p> <p>◇ふれあいフェスタ(文化の部) ・出展者数が減少してきている。さらに減少しないように新たに出展者を呼びかける必要がある。</p>

**平成28年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	豊かな心づくり、まちづくりにとって重要度は極めて高い。 村民の創作意欲を高め、生活文化の振興を図るなど重要度は極めて高い	A
コストパフォーマンス	出演者が自ら搬入、搬出を行う。後片付け実施。	A
目標等の達成度	活動の成果や課題が見えて、今後の実践の方向性が見えてきた。 村民全体の文化活動の成果が発表できた 新たな実践者が発掘できた。	A
関連波及効果	広場のイベントなどとの相乗効果で、多方面との交流が図られた。 村民のニーズの把握ができた。	A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 報償費、役務費等	148	一般財源 148
	実績 報償費、役務費等	147	一般財源 147
(平成29年度)	予算 報償費、役務費等	143	一般財源 143
(平成30年度)	計画 報償費、役務費等	143	一般財源 143
(平成31年度)	計画 報償費、役務費等	143	一般財源 143

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		(○)村直営 ( )団体 ( )その他	
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ③生涯学習活動の推進	実施期間	新規	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	デジタルアーカイブクリエイター講習会1名受講(12月) データ保存に必要な最低限の備品・消耗品の購入 先進地視察未実施
成果等	デジタルアーカイブに様々な手法や保存する規模があること、データ保存についての基礎を学ぶことができた。
課題	本村がどのようなデジタル化を目指すか、すでに実施している自治体の事例を参考に庁舎内で検討し、次年度以降の予算化が必要。

平成28年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	本村の歴史や風俗を未来に残すデジタル化は村への愛着や誇りをもつことにつながる。	B	B
コストパフォーマンス	データ保存に必要な備品・消耗品の購入にとどまった。次年度の実施具体化にまで至らなかった。	C	C
目標等の達成度	デジタル化にむけての具体的な計画を立てることができなかった。	C	C
関連波及効果	デジタル化を進めるためには組織づくり・体制づくりが必要。現存データについて保存対象として整理しておく必要があることを庁舎内で共通認識する。	C	C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	備品購入費、需用費	140	一般財源 140
	備品購入費、需用費	135	一般財源 135
(平成29年度)		—	
(平成30年度)	備品購入費、需用費	200	一般財源 200
(平成31年度)	備品購入費、需用費、印刷製本費	300	一般財源 300

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 1) 就学前教育	施策	(P26) ①保小連携など、教育機関相互の連携	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇日吉津村教育協議会(小学校・保育所・児童館・子育て支援センター)の開催</li> <li>◇保小連絡会の開催 定期開催年4回 随時開催</li> <li>◇保小合同研修会の開催</li> <li>◇保保合同研修会の開催</li> <li>◇小学校教員と保育士の授業交流 参観日や授業交流の相互参観は日常的に実施</li> <li>◇子ども読書推進計画の策定(読書推進委員会の立ち上げ未実施)</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小による連携をはじめ、児童館、子育て支援センターとも相互に連絡を取り合い、必要に応じて情報や課題を共有することにより、子どもの成長に合わせた支援をすることができた。</li> <li>・保育所年長児と小学5年生が交流を行うなどの具体的な連携により、入学時の適応に効果を上げた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日吉津村の保小連携の流れをつなぐ小中連携をどう実践していくか</li> <li>・子ども読書推進計画の具現化</li> </ul>

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	教育機関の連携協働の重要度はきわめて高い	A	中でも小中連携の強化も重要。	A
コストパフォーマンス	研修会や交流活動においても、費用をかけずにしている。	A		A
目標等の達成度	子ども読書推進計画に係る読書推進委員会の立ち上げが未実施となっている。	C		C
関連波及効果	各機関の連携によって子ども自身の支援になるだけでなく、保護者からの相談がどの機関でも情報共有できるようになり、家庭の安心感につながっている。	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算		—	
	実績		—	
(平成29年度)	予算		—	
(平成30年度)	計画		—	
(平成31年度)	計画		—	

その他意見等

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 1) 就学前教育	施策	(P26) ②家庭教育・子育て支援の推進	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇家庭教育の重要性の発信 とっとり子育て親育ちプログラムの保育所保護者実施 全保護者実施 定例化</li> <li>◇研修会の開催 新1年保護者対象に研修会を実施 就学時健診時</li> <li>◇家族ふれあい読書の推進に係る研修や講演会の実施</li> <li>◇家庭と連携を図った基本的な生活習慣の定着や強化週間の設定</li> <li>◇村立図書館を活用した読書推進</li> <li>◇第3子以降私立幼稚園就園費無償化事業 2名</li> <li>◇私立幼稚園就園奨励費補助事業 3名</li> <li>◇県教育機関を利用した研修の充実(保育の質の向上)</li> <li>◇PDCAサイクルに沿った園評価の実施と公表</li> <li>◇保護者の子育て相談体制の整備</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の年間研修計画が年度当初に立てられ、意図的、計画的な研修実践により、保育士の指導力向上につながっている。</li> <li>・子育て支援プロジェクト(福祉保健課・教育委員会・児童館・子育て支援センター)</li> <li>・子育てアドバイザーによる組織)で各機関でPDCAサイクルを意識した取組がなされている。</li> <li>・保育所への指導助言など要望と必要に応じて行うことができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と協働した基礎的な生活習慣及び学習習慣の定着の取組の発信</li> <li>・村民による学校支援ボランティアについての学校支援コーディネーターの確保</li> </ul>

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	日吉津村の次世代育成に係る課題で重要度は極めて高い。	A	家庭教育の中でも子育て親育ちプログラムが重要	A
コストパフォーマンス	関係機関が連携を図り、県の資源や他町との協働によってコストを抑え、効果を上げている。	A		A
目標等の達成度	各機関のPDCAサイクルが機能し、目標達成が図られている。	A		A
関連波及効果	早期からの計画的な支援を行い、家庭を含めた支援のための情報を関係機関で共有できる。	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	賃金、報償費、委託料、その他補助金	639	国庫補助金 180 一般財源 459
	実績	賃金、報償費、委託料、その他補助金	629	国庫補助金 180 一般財源 449
(平成29年度)	予算	賃金、報償費、委託料、その他補助金	450	国庫補助金 93 一般財源 357
(平成30年度)	計画	賃金、報償費、委託料、その他補助金	450	国庫補助金 93 一般財源 357
(平成31年度)	計画	賃金、報償費、委託料、その他補助金	450	国庫補助金 93 一般財源 357

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ①活力のある学校づくり	実施期間	継続	団体等	

**平成28年度実施状況**

実施状況	<p>◇農産物生産体験事業・・・社会科や総合的な学習のなかで、地域の生産者をゲストティーチャーとして迎え、大豆づくり、白ねぎづくりを年間を通じて体験する学習を進める。収穫祭をゲストティーチャーとともにいき、収穫の喜びと感謝の気持ちを育てた。</p> <p>◇老人クラブとの交流事業・・・サツマイモづくりを通じて高齢者との交流を図った。収穫祭をともにいき、収穫の喜びと感謝の気持ちを育てた。年間を通じて、学校敷地内の除草作業を通じた交流を行った。</p> <p>◇クラブ活動で、囲碁・将棋・茶道・ヨガ等を教わった。</p> <p>◇小学校校庭芝生維持管理事業・・・芝生化による運動促進、体力の向上、多様な遊戯活動が出来ている。ボランティアの維持管理活動を通して学校、家庭、地域の連帯強化と拠点づくりを行った。</p> <p>◇人材育成交流事業・・・沖縄読谷村の伝統文化の体験や人々の交流及び平和学習を通し、①郷土に生きる自覚を促すとともに友情と連携の精神を養い、②郷土の文化や歴史に気づき、自ら次代を担う村民の一員としての自覚を促すとともに自立の精神を養った。</p> <p>◇水泳特別指導事業・・・「卒業までに100m以上泳げるようになる」を目標に夏季休業中に、水泳専門員による指導を行い、全児童に具体的な目標を持たせることにより、自信や達成感を与え、日吉津小学校の卒業生としての誇りを持たせることが出来た。</p>
成果等	<p>・子どもたちは、直接指導を受けられることにより、教師の支援、指導以上の学習内容と地域の方との交流や地域との結びつきが豊かになり、大切な体験的学習となっている。</p> <p>・郷土愛、感謝、友情、自立心、克己心などを育て、誇りが持てる子ども達になっている。</p>
課題	<p>・様々な学習の輪を広げ、学社連携を行う。</p>

**平成28年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	地域の人と交流しながらの学習体験は、重要度が高い 自信や達成感、郷土愛や誇りを持たせることは大切	A
コストパフォーマンス	地域ボランティアの協力により、交流事業を行った	A
目標等の達成度	地域の人から教えてもらうことで、家庭や学校では学べないことを身につけることができ、児童にとって重要な交流・体験学習となっている	A
関連波及効果	学校と地域との交流(児童の学習意欲・活力ある学校運営など波及効果は大きい)	A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 賃金、消耗品、燃料費、旅費、負担金等	1,856	一般財源 1,856
	実績 賃金、消耗品、燃料費、旅費、負担金等	1,777	一般財源 1,777
(平成29年度)	予算 賃金、消耗品、燃料費、旅費、負担金等	1,934	一般財源 1,934
(平成30年度)	計画 賃金、消耗品、燃料費、旅費、負担金等	1,934	一般財源 1,934
(平成31年度)	計画 賃金、消耗品、燃料費、旅費、負担金等	1,934	一般財源 1,934

**教育委員の意見・指摘**

--

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ①活力のある学校づくり	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	◇外部指導者による陸上及び体幹指導講習会の実施
成果等	・陸上の基礎的な技術の習得 ・体幹運動、バランス感覚の習得 ・指導者の意識、指導技術の向上
課題	・外部の人材の専門性のさらなる活用

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	次世代の体力作りで重要度は極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	コストを抑え、効果を上げている。	A		A
目標等の達成度	児童の意識改革に貢献している。	A		A
関連波及効果	体力、技術力の向上。	A	特に水泳の指導による技術力の向上に期待します。	A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 賃金	109	一般財源 109
	実績 賃金	109	一般財源 109
(平成29年度)	予算 賃金	200	一般財源 200
(平成30年度)	計画 賃金	200	一般財源 200
(平成31年度)	計画 賃金	200	一般財源 200

教育委員の意見・指摘	

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (1) 小学校教育	施策	(P27)	実施期間	継続	団体等	
		②社会に適應できる子どもの育成				

平成28年度実施状況	
実施状況	◇パソコンやインターネットを活用した学習の推進 ◇外国語指導助手(ALT)による外国語活動の実施(5・6年生における英語学習、4年生以下における国際理解学習として実施) ◇情報通信技術(ICT)の利用・活用教育のための、機器整備(H27～H29 プロジェクター、実物投映機、マグネットスクリーン等)
成果等	・パソコンやインターネットを活用した学習の推進 ・外国語指導助手(ALT)による外国語活動の推進
課題	・外国語活動の今後の動向に合わせた、指導体制の確保。(文科省検討事項:3、4年生で週1～2回、5、6年生で週3回の実施を想定。5年生からは検定教科書を使用し、成績評価も導入する。基本的な読み書きなど中学校の学習内容を一部取り入れる。全ての教員が英語の指導力を備えられるよう、教員養成のカリキュラムも見直す。H30年度(2020年度)までに、実施できるよう検討中)

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	情報化教育、国際感覚の取得の重要度は高い	B	今後の英語授業の導入もあり重要度は高い。	A
コストパフォーマンス	限られた予算で、情報教育環境の整備及び機器更新が行えた。	A		A
目標等の達成度	情報教育、国際感覚の取得に役立った。	A		A
関連波及効果	情報教育、国際感覚の状況について、参観日などを通して保護者に伝えた。	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	委託料、使用料、備品購入費等	3,624	繰入金 2,054 一般財源 1,570
	実績	委託料、使用料、備品購入費等	3,623	繰入金 2,054 一般財源 1,569
(平成29年度)	予算	委託料、使用料、備品購入費等	2,053	繰入金 416 一般財源 1,637
(平成30年度)	計画	委託料、使用料、備品購入費等	1,636	一般財源 1,636
(平成31年度)	計画	委託料、使用料、備品購入費等	1,636	一般財源 1,636

教育委員の意見・指摘	

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾)

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (1) 小学校教育	施策 (P27) ③特別支援教育の充実	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級を3学級設置し、個別指導の充実を図った。毎月LD(学習障がい)等専門員の訪問をうけ、児童の状況を職員で把握し、対応を図っている。また、就学相談については校内で特別支援教育コーディネーターを配置し、担任と保護者や特別支援学校や医療機関など校外の関係機関につないでいる。</li> <li>病弱学級を開設した。(医療的ケアのため看護師を配置した。(H26~))</li> </ul>
成果等	保護者の合意形成のもとに児童の障がいの状況に応じた特別支援学級の設置がなされている。近隣の特別支援学校と担任が連携を図り、障がいに応じた専門的な教育を充実させることができた。特別支援学級以外の困り感を持つ子どもたちについては特別支援学校との通級指導教室を利用するなど具体的に個人に応じた対応を行うことができた。
課題	さらに個に応じた指導や支援を充実させていく。

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	児童一人ひとりの個性に応じた教育の重要度は極めて高い	A		A
コストパフォーマンス	医療的ケアに対し適切に対応出来た	A		A
目標等の達成度	きめ細かい指導ができた	A		A
関連波及効果	交流学習により、相互の理解を一層深めた	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)					
年度	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)	
平成28年度	予算	賃金、負担金、借上料	3,187	県支出金	2,076
	実績	賃金、負担金、借上料	3,184	一般財源	1,111
(平成29年度)	予算	賃金、負担金、借上料	3,280	県支出金	2,168
(平成30年度)	計画	賃金、負担金、借上料	3,310	一般財源	1,112
(平成31年度)	計画	賃金、負担金、借上料	3,310	県支出金	2,168
				一般財源	1,142

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策 (P27) ④開かれた学校教育の実践	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	◇クラブ活動や総合学習へのゲストティーチャー招聘 ・PTA活動、地域子ども会、自治会、各種団体との連携を図るとともに、地域の教育力を活用し、地域の伝統や文化を伝え、「生きる力」を育んだ。
成果等	・地域の教育力の活用は、子どもたちの学習をより充実させるという効果をもたらしているが、学校に来られる地域の指導者や保護者にとっても、子どもたちとのふれあいは大きな喜びとなっている。
課題	・学社連携の推進。

平成28年度施策評価		
評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	地域に根ざした学校教育は、重要度が高い B	B
コストパフォーマンス	地域ボランティアの協力により事業を行った。 A	A
目標等の達成度	ゲストティーチャーの定着。 読書量の増加。 B	B
関連波及効果	地域との関り、読書活動の重要性など村民に広く知ってもらうことができた。 B	B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	—	
	実績	—	
(平成29年度)	予算	—	
(平成30年度)	計画	—	
(平成31年度)	計画	—	

教育委員の意見・指摘

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾)

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ⑤教職員の資質の向上	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	専門講師を招いて年5回校内研修を行い、教職員の指導力向上を図った。 ・授業研究会は提案授業研究として全体研修では 3回(専門講師や県教委より定期的に指導助言を受け研究会を行った。)
成果等	研修会及び授業研究で具体的な指導を受け、授業方法の改善に役立った。 ・研修会により心や性に関する授業及び指導における留意点や効果的な指導法を学んだ。 ・授業研究会により相互の授業内容を検証し、指導計画や実際の指導法などについて多角的に研究することができた。
課題	・年間を通しての講師の確保。

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	教職員の質的向上を目指した学校教育の充実は重要度が高い	A	教職員のレベルアップは永遠のテーマ。重要度は極めて高い。	A
コストパフォーマンス	概ね前年同様に施策が実施された。	C		C
目標等の達成度	研究会等で様々なスキルを学び、指導方法などの改善につながっている。	B		B
関連波及効果	少人数指導による、学力向上を図った	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	報償費	185	一般財源 185
	実績	報償費	185	一般財源 185
(平成29年度)	予算	報償費	320	一般財源 320
(平成30年度)	計画	報償費	320	一般財源 320
(平成31年度)	計画	報償費	320	一般財源 320

教育委員の意見・指摘

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (2)中学校教育	施策	(P28) ①教育機能の整備	実施期間	継続	団体等	中学校組合

平成28年度実施状況	
実施状況	◇教育施設の充実 ・プールろ過機改修事業 ・保健室給水設備事業 ・通信回線光回線化及びビジネスフォン導入事業 ・バスケットゴール安全点検事業
成果等	・安定的な学校運営がなされている。 ・教員の研修参加により指導力の向上が図られ、授業に活かすことができた。
課題	・教育環境の充実と生徒の学方向上に努めたい。

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	教育環境の整備の重要度は極めて高い	A		A
コストパフォーマンス	中学校組合による運営により、活力ある学校運営がなされている	B		B
目標等の達成度	前年同様	C		C
関連波及効果	特に何も無い	C		C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	負担金	9,521	一般財源 9,521
	実績	負担金	9,521	一般財源 9,521
(平成29年度)	予算	負担金	10,621	一般財源 10,621
(平成30年度)	計画	負担金	10,621	一般財源 10,621
(平成31年度)	計画	負担金	10,621	一般財源 10,621

教育委員の意見・指摘	

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>		実施主体	(○)村直営 ( )団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (2) 中学校教育	施策	(P28) ②社会教育分野の取り組み	実施期間	継続	団体等 中学校組合

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会、盆踊り大会など地域行事への参加がみられた。</li> <li>・村民運動会、盆踊り大会、チューリップマラソンにボランティアとして参加した。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会やチューリップマラソンのボランティアスタッフとして楽しみながら参加。毎年スタッフ参加することが定着し、貴重な地域活動の場になっている。</li> <li>・村民運動会や盆踊り大会のスタッフとして参加することによって、運営に参加する楽しみや充実感を感じながら協働することができた。</li> <li>・育った地域へ貢献する活動や村行事の運営に参加することで地域行事に親しみを持ち、自尊感情を高め、幅広く地域の人とふれあうことができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した取り組みが重要。</li> </ul>

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	地域に溶け込んだ中学生の活動は、重要度が高い。	B		B
コストパフォーマンス	既存の地域行事を利用した。	B		B
目標等の達成度	ボランティア参加は継続している	B		B
関連波及効果	地域行事に参加することにより、地域での子供たちへの関心が高まり、よりよい社会環境の形成につながった。	B	各イベントへの参加もあり、社会性、郷土への関心、愛着を持ってくれたら良いと思います。	B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	—	
	実績	—	
(平成29年度)	予算	—	
(平成30年度)	計画	—	
(平成31年度)	計画	—	

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	( )村直営 (○)団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (2)中学校教育	施策	(P28) ③関係組織の連携強化	実施期間	継続	団体等 中学校組合、PTA等

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箕蚊屋中校区地域安全協議会による、児童・生徒の下校時を中心とした、青色回転灯車によるパトロールの実施。</li> <li>・青少年育成日吉津村民会議による、夏休み期間を中心とした、村ミニパトによる村内夜間パトロールの実施。</li> <li>・米子市少年育成センターと連携し、学校、警察等関係機関合同で、イオン日吉津店内のパトロールを実施。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パトロールすることにより、保護者や地域住民が地域の環境を把握することができ、地域での見守り支援に関心が高まった。</li> <li>・パトロール時に子どもに声掛けすることにより、非行問題の防止につながった。</li> <li>・店内パトロールにより、非行問題の防止につながった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携の継続。</li> </ul>

平成28年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	安全・安心の学校生活の確保は、重要度が高い。	B	B
コストパフォーマンス	ボランティアの協力。	B	B
目標等の達成度	米子市少年育成センター、学校、警察等関係機関との情報共有。	B	B
関連波及効果	地域への防犯意識	B	B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	—	
	実績	—	
(平成29年度)	予算	—	
(平成30年度)	計画	—	
(平成31年度)	計画	—	

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ①学習機会、内容の拡充・支援	実施期間	継続	団体等

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの日まつり・・・(5月5日・参加者77名)村子連と青少年育成村民会議の連携により実施した。</li> <li>・成人式の開催・・・教育委員会が主体で式典を開催(1月3日・参加者30人)。日吉津村図書館が選書した20冊の中から、本人が選択した本を贈呈した。</li> <li>・家庭教育講演会・・・就学児健診にあわせ、保護者に対し実施した。</li> <li>・ヴィレッジ☆カレッジ・・・ヴィレステひえづに来館するきっかけになるよう、4つの講座を開催した。</li> </ul>
成果等	・地域の交流が広がった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢と学習者のニーズを考慮した講座の開催が必要。</li> <li>・学んだ内容を地域に還元する主体的意識や場をつくる必要がある。</li> </ul>

平成28年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	学習機会等の拡充は生涯学習の村づくりのために重要度が高い。	A	A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C	C
目標等の達成度	団体ごとの主体性の確立はできてきているが、各団体間の連携には課題が残る。	B	B
関連波及効果	ヴィレステひえづが学びの場となるきっかけになった。	A	A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	報償費等	164	一般財源 164
	実績	報償費等	151	一般財源 151
(平成29年度)	予算	報償費等	247	一般財源 247
(平成30年度)	計画	報償費等	247	一般財源 247
(平成31年度)	計画	報償費等	247	一般財源 247

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ①学習機会、内容の拡充・支援	実施期間	継続	団体等

平成28年度実施状況	
実施状況	◇地元就職し、村から通勤する場合に村奨学金返還額を助成する制度「日吉津村地元人材育成奨学金支援事業」を立ち上げた。
成果等	・村奨学金返還中の方に案内をしたが、申請が無かった。
課題	・今後返還が始まる方へも通知しているので、来年度以降居住人口増の一助になる。効果が出るまで時間がかかる。 ・これから借り入れを計画している方は、返済計画が立てやすく、問い合わせもある。

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	人口施策の一助となり、重要。	A		A
コストパフォーマンス	今年度の申請は無かった。	E		E
目標等の達成度	今年度の申請は無かった。	E		E
関連波及効果	今年度の申請は無かった。	E		E

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 補助金(専決処分で減額)	0	一般財源 0
	実績 補助金	0	一般財源 0
(平成29年度)	予算 補助金	180	一般財源 180
(平成30年度)	計画 補助金	180	一般財源 180
(平成31年度)	計画 補助金	180	一般財源 180

教育委員の意見・指摘	
奨学金返還額補助制度を知らない人が多いと思うので、もっと多面的なPRが必要ではないかと思っています。	

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ②各種団体・グループの育成と指導者養成	実施期間	新規	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの日まつり」を村子ども会育成連絡協議会と青少年育成村民会議等が共催するなど連携を図りながら進めた。</li> <li>・村子ども会育成連絡協議会では、育成者研修会、リーダー研修、夏のキャンプ、資源回収、レク&amp;クリスマス会を開催した。</li> <li>・青少年育成村民会議では、夏休み巡回パトロール、委員研修等を実施した。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会活動では、子どもおよび育成者が主体的に活動することが定着してきた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な活動が定着しつつあるので、継続が必要。</li> <li>・村青少年育成村民会議の整理および充実が必要。</li> </ul>

平成28年度施策評価				
	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	協働と参画のむらづくりにおいては重要度は高い。	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	青少年育成村民会議および青少年育成指導員の充実に課題が残る	D		D
関連波及効果	地域人材の育成	C		C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	補助金等	431	一般財源 431
	実績	補助金等	429	一般財源 313
(平成29年度)	予算	補助金等	561	一般財源 561
(平成30年度)	計画	補助金等	561	一般財源 561
(平成31年度)	計画	補助金等	561	一般財源 561

教育委員の意見・指摘	

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(山口、増本、土井、田淵)

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>		実施主体	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ②各種団体・グループの育成と指導者養成	実施期間	新規	団体等

平成28年度実施状況	
実施状況	◇ヘアアレンジ講座の開催 ◇各種イベントへの参加(ふれあいフェスタ、選挙該当啓発) ◇生涯学習大会 ◇よるとしよ、西部地区社協でのカフェ運営 ◇映画会の企画
成果等	村内での高校生の活動が、村民の目にふれるようになった。
課題	高校生活動の拡充。

平成28年度施策評価			
	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	高校生が自主的に活動できる環境を整えることは大変重要である	B	B
コストパフォーマンス	経費以上の効果がある	A	A
目標等の達成度	拡充に課題	C	C
関連波及効果	特に効果は見られなかった	C	C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	報償費、消耗品費	90	一般財源 90
	実績	報償費、消耗品費	36	一般財源 36
(平成29年度)	予算	I-22に集約		
(平成30年度)	計画	I-22に集約		
(平成31年度)	計画	I-22に集約		

教育委員の意見・指摘	

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>			実施主体	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ②各種団体・グループの育成と指導者養成	実施期間	新規	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	◇先進地域への調査(倉吉から資料収集)、内部協議。
成果等	日吉津におけるゲストティーチャー募集要項の検討。
課題	チラシ作製、募集開始。

平成28年度施策評価				
	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	村内の人材を発掘する重要な施策である	B		B
コストパフォーマンス	経費相当	C		C
目標等の達成度	募集を開始できなかった	D		D
関連波及効果	特に波及効果なし	C		C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	消耗品費	30	一般財源 30
	実績	消耗品費	21	一般財源 21
(平成29年度)	予算	I-22に集約		
(平成30年度)	計画	I-22に集約		
(平成31年度)	計画	I-22に集約		

教育委員の意見・指摘	

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾・田淵)

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>		実施主体	( )村直営 (○)団体 (○)その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	(P29) ④各種イベントの開催	実施期間	継続	団体等	盆踊り花火大会実行委員会 芸能大会実行委員

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盆踊り花火大会は例年通り8月16日に開催。自治会、企業より協賛金を集めて花火を打ち上げた。実行委員数35名、協賛企業数79社、賞品点数113点、抽選券配布数1,200枚。</li> <li>・芸能大会は、3月12日(日)開催。(3月11日夜リハーサル) 会場: ヴィレステヒえづ(ヴィレステホール) 参加組数14組(前年比±0)参加人数166人、実行委員31人で実施した。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇盆踊り花火大会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に大会来場者の増加。ふるさとの夏祭りとして定着しつつあり、花火を楽しむ人が多くなった。</li> <li>・昨年同様、小学生に日吉津音頭の練習会を実施したので、盆踊りではたくさんの小学生が参加した。</li> </ul> </li> <li>◇芸能大会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的出演が増え、自治会、各種団体に「芸能大会出演」が定着してきている。自主参加、自主運営も進んでいる。</li> </ul> </li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇盆踊り花火大会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・花火を打ち上げるのはいいが、その後の後始末ができておらず、次の日に掃除をする必要あり。</li> <li>・今年から万灯を計画したが雨天の為実施できず。来年また計画をする予定。</li> </ul> </li> <li>◇芸能大会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たい演目が終わると途中で帰ってしまう人が多かった。観客が高齢化してきている。</li> </ul> </li> </ul>

平成28年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	ふるさと意識を高揚させ、村民の連携と活性化を図ったり、芸能大会、グループ活動の成果の発表、鑑賞の場の提供は極めて重要である。	A	A
コストパフォーマンス	寄付金集めも含め、実行委員を中心に大会準備から後片付けまで手作りの大会	A	A
目標等の達成度	自治会、商工会、各種団体の協力があり、花火の打上げがあり、芝に座っての花火見物も出来、世代、地域を超えた交流の場となった。	A	A
関連波及効果	村民の自主的な出演が見られる。寄付による花火打ち上げにより、村民の意識の共有化ができつつある。	A	A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 役務費、借上料	70	一般財源 70
	実績 役務費、借上料	62	一般財源 62
(平成29年度)	予算 役務費、借上料	70	一般財源 70
(平成30年度)	計画 役務費、借上料	70	一般財源 70
(平成31年度)	計画 役務費、借上料	70	一般財源 70

教育委員の意見・指摘

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(山口、増本、土井、田淵)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ④各種イベントの開催	実施期間	継続	新規	

平成28年度実施状況	
実施状況	◇ボランティア募集 夜の図書館の支援ボランティアと夏休み学習室開放での見守りボランティアを募集した。 ◇講演会の開催 3月18日にヴィレステひえづ拠点講演会として図書館フレンズいまり大塚まゆみさんの講演会を開催した。 (グループ育成、中高生自主サークル活動支援、ゲストティーチャー登録は29年度以降、この事業に一括計上)
成果等	◇ボランティア募集 夜の図書館に1名応募があり、これまで支援が続いている。 ◇講演会の開催 住民が自発的なボランティアとして図書館を支えている内容も含まれた講演で、最高の講演だった。
課題	◇ボランティア募集 図書館のボランティア以外にも、玄関前花壇や屋内切花の提供などの協力があり、呼びかけを重ねる必要がある。 ◇講演会の開催 講師の図書館運営の素晴らしさに関心が向かい、受講された方々が自主的に課題を見つけて活動するボランティア活動には発展しなかった。

平成28年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	様々な方の協力をいただいてこそ、施設運営で成長できると考えており、継続的な働きかけを行うことが重要である。	A	A
コストパフォーマンス	講演等については意識の醸成面からは必要であり、個々の呼びかけに対して将来の効果に現れる。	B	B
目標等の達成度	呼びかけができ、啓発も実施できた。	B	B
関連波及効果	他の施設等に徐々に浸透すると期待している	B	B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 報償費、需用費	150	一般財源 150
	実績 報償費、需用費	119	一般財源 119
(平成29年度)	予算 報償費、需用費、役務費	107	一般財源 107
(平成30年度)	計画 報償費、需用費、役務費	107	一般財源 107
(平成31年度)	計画 報償費、需用費、役務費	107	一般財源 107

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ④各種イベントの開催 (グループ育成事業)	実施期間	新規	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	◇体験会 ・外部講師によるファブリックステンシル講座を開催(2月14日) ◇作品展 ・グループ作品展による発表の場づくりとして、出会いストリートでは、団体19、個人3、合計22の展示を開催。ふれあいフェスタでは、グループや団体、個人が展示をした。
成果等	◇体験会 ・講座の後、アンケート実施。グループとして活動をしたいと希望した参加者が数名いた。 ◇作品展 ・個人展やグループの展示の際、芳名録を記入してもらい、たくさんの方に観てもらったことがわかった。
課題	◇体験会 ・2回目の講座の日程がなかなか計画できず、グループ活動としてできなかった。 ◇作品展 ・出会いストリートで展示をする際は展示の仕方に工夫がいる。

平成28年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	講座や展示で呼びかけるのは、ヴィンステヒえづを多くの方にご利用いただくうえで重要度は極めて高い	A	A
コストパフォーマンス	講座を1回しか実施できていないので、1回分しか使用していない	C	C
目標等の達成度	親規グループにはできなかった	C	C
関連波及効果	講座や展示をすることにより、交流の場となった	A	A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	報償費、消耗品費	40	一般財源 40
	実績	報償費、消耗品費	11	一般財源 11
(平成29年度)	予算	報償費、消耗品費	40	一般財源 40
(平成30年度)	計画	報償費、消耗品費	40	一般財源 40
(平成31年度)	計画	報償費、消耗品費	40	一般財源 40

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策 (P29) ⑤民俗資料館の管理運営と地域文化振興	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	・日吉津小学校児童が社会科の授業で見学した。 ・ふれあいフェスタでの展示に併せて資料館開放し、イベントを開催した。 ・ヴィンステひえづで民俗資料の出張展示を実施した。 ・村指定文化財(9箇所)を適正に管理した。
成果等	・小学生の学習に利用することにより子どもたちに視覚的な教材を提供することができ、さらに地域で実際に使われていたものを見ることでより民俗への関心につながった。 ・フェスタでの展示や期間中に自由に観覧できることによって、様々な年代の入館者があり、世代間の交流につながった。 ・出張展示を実施したことにより、多くの村民に民俗資料をご覧いただいた。
課題	・民俗資料館の効果的なPRが必要である。

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	文化振興・ふるさと意識を育てる拠点として、重要度が高い。	A	日吉津村の歴史、文化を知る施設として重要。	A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	小学校での授業や教育委員会の事業で民俗資料館を活用できた。	B		B
関連波及効果	村民のふるさと意識の向上に期待できる	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)					
年度	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)	
平成28年度	予算	賃金、委託料等	633	県支出金 34	一般財源 599
	実績	賃金、委託料等	568	県支出金 71	一般財源 497
(平成29年度)	予算	需用費等	729	県支出金 34	一般財源 695
(平成30年度)	計画	需用費等	729	県支出金 34	一般財源 695
(平成31年度)	計画	需用費等	729	県支出金 34	一般財源 695

教育委員の意見・指摘	

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(増本)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	( )村直営 ( )団体 (○)その他		
4. 社会体育の振興 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策 ① 村民総スポーツの推進	(P29)	実施期間	継続	団体等 チューリップマラソン・12時間ソフトバレー実行委員会

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>第38回チューリップマラソン(4月10日:2,299人)</li> <li>第15回記念大会”熱血”12時間ソフトバレーボール大会(6月4日:341人)</li> <li>カルチャー土曜塾(グラウンドゴルフ、ドッジビー、カローリング等)</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各大会とも定着してきており、体力づくりに役立っている。</li> <li>今回のチューリップマラソンは参加者数が約2,300人の参加となった。</li> <li>カルチャー土曜塾では、児童が普段できないようなスポーツを行う事で、スポーツに更なる興味を持ってもらう事ができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>チューリップマラソンは事務局主導の流れが強く、実行委員会の見直し等が必要。また、運営上、簡素化できる部分については実行委員会で検討し、負担を減らすような努力が必要。</li> </ul>

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	村民の健康・体力づくりの重要度は極めて高い	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	当初計画していた事業が実行できた	C		C
関連波及効果	村外の方がイベントに参加することにより、村のPRにつながった。	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	賃金・補助金	1,599	県支出金 360 一般財源 1,239
	実績	賃金・補助金	1,598	県支出金 360 一般財源 1,238
(平成29年度)	予算	賃金・補助金	1,599	県支出金 360 一般財源 1,239
(平成30年度)	計画	賃金・補助金	1,779	県支出金 450 一般財源 1,329
(平成31年度)	計画	賃金・補助金	1,599	県支出金 360 一般財源 1,239

教育委員の意見・指摘	

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(増本)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		
4. 社会体育の振興 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ②各種大会の開催	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
			実施期間	継続	団体等

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会(10月9日:約1,300人(競技参加者延べ人数))</li> <li>・村民球技大会(7月3日 ソフトボール ペタンク)・・・雨天中止</li> <li>・村民球技大会(9月11日 グラウンドゴルフ:96人 ソフトバレーボール:72人)</li> <li>・村民球技大会(3月5日 バドミントン:76人 卓球:46人)</li> <li>・バドミントン教室(毎週土曜日開催:平均15人)</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会は、村民主体の実行委員会形式で開催できた。</li> <li>・各種球技大会は、参加者の体力向上に寄与するとともに、自治会ごとの交流・親睦の場として役立った。また、参加が少なかったゲートボールをペタンクに変更し、参加者の増加を図った。</li> <li>・バドミントン教室も小学校から大人まで幅広い年齢層の参加者があった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会競技の</li> <li>・ニュースポーツの普及(教室、大会)</li> </ul>

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	地域の繋がり、交流、親睦の場は重要度が極めて高い	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた	C		C
目標等の達成度	昨年同様	C		C
関連波及効果	自治会対抗の大会であり、親睦が深まった	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 補助金	515	一般財源 515
	実績 補助金	436	一般財源 436
(平成29年度)	予算 補助金	765	一般財源 765
(平成30年度)	計画 補助金	765	一般財源 765
(平成31年度)	計画 補助金	765	一般財源 765

教育委員の意見・指摘	
村民運動会の競技種目、人数について検討する必要があるのではないかと思います。	

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(増本)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	( )村直営 (○)団体 (○)その他			
4. 社会体育の振興 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ③少年スポーツの健全育成	実施期間	継続	団体等	教育委員会 スポーツ少年団

平成28年度実施状況

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球(12人)、サッカー(19人)、ミニバスケットボール(22人)、空手(1人)、バドミントン(22人)の5種目の活動を行っている。</li> <li>部員の増加を図るため、体験入部を実施した。(11人参加)</li> <li>奉仕活動として、海岸クリーン作戦、日野川一斉清掃に参加している。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部とも週に1~3回の活動を行い、健全な青少年育成・体方向上に寄与している。</li> <li>体験入部を実施し、9人の入団があった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>種目ごとに団員数の偏りがある。</li> <li>スポーツ少年団の活動を村民全体に理解してもらうため、113ch等でPRが必要。</li> </ul>

平成28年度施策評価

評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	青少年育成・体力向上の面からも、スポーツ少年団活動は重要度が極めて高い	A	スポーツ少年団の活動は健全育成の面からも重要度は極めて高い。	A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた	C		C
目標等の達成度	体験入部の実施もあり、団員が増加した	B		B
関連波及効果	奉仕活動を通じて地域に貢献している	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	補助金	727	一般財源 727
	実績	補助金	726	一般財源 726
(平成29年度)	予算	補助金	758	一般財源 758
(平成30年度)	計画	補助金	758	一般財源 758
(平成31年度)	計画	補助金	758	一般財源 758

教育委員の意見・指摘

--

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(増本)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
4. 社会体育の振興	1)スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ④指導者の確保・育成		
			実施期間	継続	団体等

平成28年度実施状況

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国地区スポーツ推進委員研修会(島根)への参加(6月25日・26日)</li> <li>鳥取県スポーツ推進委員研究大会(湯梨浜町)への参加(11月5日)</li> <li>西伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会への参加(3月19日)</li> </ul>
成果等	様々な研修会等に参加することにより、他の市・町の指導者との交流が図れた。
課題	スポーツ少年団指導者の認定指導者研修会への参加推進

平成28年度施策評価

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	各指導者間の共通認識の確保は重要度が高い B	B
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた C	C
目標等の達成度	中国地区研修や県、郡主催の研修会等に参加し、研鑽を深めた B	B
関連波及効果	特に波及効果なし C	C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 費用弁償	53	一般財源 53
	実績 費用弁償	53	一般財源 53
(平成29年度)	予算 費用弁償	-	-
(平成30年度)	計画 費用弁償	138	一般財源 138
(平成31年度)	計画 費用弁償	138	一般財源 138

教育委員の意見・指摘

スポーツを通して子ども達へ健全な育成、体力向上を行っていただくためにも、指導者の方々には積極的に研修会へ参加していただきたいと思っております。

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(増本)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
4. 社会体育の振興 1)スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ⑤施設の適正管理と有効利用	実施期間	継続	団体等

平成28年度実施状況

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設において、各種団体がスポーツ活動により体づくりを行い、村内外の企画による各種大会では、スポーツを通して交流する場となった。</li> <li>スポーツ振興審議会を開催できなかった。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理担当課間で連携を図り、施設の有効活用ができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の更なる有効活用を図り、多くの方に施設を使用してもらう。</li> </ul>

平成28年度施策評価

評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	施設の有効活用については重要度が高い	B		B
コストパフォーマンス	スポーツ推進審議会を開催できなかった	D		D
目標等の達成度	昨年同様	C		C
関連波及効果	特に波及効果なし	C		C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算 報酬	18	一般財源 18
	実績 報酬	0	一般財源 0
(平成29年度)	予算 報酬	18	一般財源 18
(平成30年度)	計画 報酬	18	一般財源 18
(平成31年度)	計画 報酬	18	一般財源 18

教育委員の意見・指摘

--

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾)

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他	
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策	実施期間	H18～継続	団体等
	(P30) ①「あらゆる差別をなくす総合計画」の策定			

平成28年度実施状況	
実施状況	・「日吉津村における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす条例」に基づき計画案を策定し、「日吉津村における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす審議会」に諮問中。
成果等	・「日吉津村における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす審議会」を2回開催し、審議を深めた。平成29年度にさらに審議し、7月中旬頃答申予定。
課題	・推進する施策項目の整理。

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	人権意識を持った行政事務の執行について重要度が高い	A		A
コストパフォーマンス	審議会を予定回数実施した。	C		C
目標等の達成度	審議会を予定回数実施した。	D		D
関連波及効果	特に波及効果なし	C		C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	報酬	54	一般財源 54
	実績	報酬	36	一般財源 36
(平成29年度)	予算	報酬	60	一般財源 60
(平成30年度)	計画		—	
(平成31年度)	計画		—	

教育委員の意見・指摘

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(山口、梅林智)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策 (P31) ②人権・同和教育研修の充実	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業を村人権・同和教育推進協議会と共同で実施した。</li> <li>村人権・同和教育研究大会・・・講演(講師 福永 宅司さん)、小学生の人権学習発表、中学生の人権弁論。参加者52名。</li> <li>チューリップセミナー・・・計2回の講座</li> <li>小地域懇談会・・・4自治会(海川、日上1、下口、富吉)開催</li> </ul>
成果等	各部会の委員が主体となり、小地域懇談会の実施をはじめ、チューリップセミナー、委員研修会などの研修を開催した。
課題	リーダーの育成並びに村民全体の意識の高揚と啓発活動の推進が必要である。

平成28年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	人権尊重社会の実現は重要度が極めて高い。	A	人権尊重の意識を高める事は、重要度が極めて高い。	A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	部会委員の主体性が向上した	B		B
関連波及効果	自治会等での活動の活性化につながる	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	報償費等	172	一般財源 172
	実績	報償費等	168	一般財源 168
(平成29年度)	予算	報償費等	282	県支出金 30 一般財源 252
(平成30年度)	計画	報償費等	282	県支出金 30 一般財源 252
(平成31年度)	計画	報償費等	282	県支出金 30 一般財源 252

教育委員の意見・指摘	

第6次総合計画施策評価(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(山口、梅林智)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策	(P31)	実施期間	継続	団体等
		③村人権・同和教育推進協議会の活動推進			

平成28年度実施状況

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員研修会、各種研修会への派遣参加。</li> <li>村人権・同和教育研究集会、チューリップセミナーを共催。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小地域懇談会の実施をはじめ、チューリップセミナー、村研究大会、委員研修会を開催した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会活動を委員主体で活動出来てきた。今後も継続していくことが必要。</li> </ul>

平成28年度施策評価

評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	人権尊重社会の実現は重要度が極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた	C		C
目標等の達成度	部会委員の主体性が向上した	A		A
関連波及効果	自治会等での活動の活性化につながる	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	補助金	273	一般財源 273
	実績	補助金	243	一般財源 243
(平成29年度)	予算	補助金	272	一般財源 272
(平成30年度)	計画	補助金	272	一般財源 272
(平成31年度)	計画	補助金	272	一般財源 272

教育委員の意見・指摘

--